

となり町戦争（2006）

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스 サスペンス

製作国 日本

色彩 Color

時間 114分

初公開日 2007/02/10

公開情報 角川ヘラルド映画

【キャッチコピー】

町対町、役所と住民、上司と部下、そして男と女
今、一線を越える！

【解説】

穏やかな日常の背後で町同士が行政事業の一環として戦争を行うという奇想天外な設定をリアルなディテールで書き上げ話題を呼んだ新星・三崎亜記の同名小説を映画化。“見えない”戦争にある日突然巻き込まれた青年が、淡々と業務としてこなしていく公務員の女性に淡い恋心を抱きつつも、次第に戦争の恐怖を実感していく姿を静かなタッチで描いていく。主演は「アナザヘヴン」の江口洋介と「紙屋悦子の青春」の原田知世。監督は「ラブドガン」の渡辺謙作。

舞坂町に暮らす北原修路は、旅行会社に勤めるごく普通の青年。平凡な毎日を送る彼はある日、ふと目にした町の広報紙“広報まいさか”の中に、不可解な一文を発見する。そこには“舞坂町はとなり町の森見町と戦争をします。開戦日は5月7日…”と書かれていた。しかし、翌日の開戦日を迎えても、町にはいつもと変わらぬ穏やかな時間が流れていた。ところがそれから数日後、北原は役場から特別偵察業務の指令を受け取る。要領を得ないまま舞坂町役場を訪れた北原は、そこで“対森見町戦争推進室”に籍を置く女性、香西さんから偵察任務の概要を説明されるのだったが…。

【クレジット】

監督	渡辺謙作	
製作	石畑俊三郎	
	荻野和仁	
	八木ケ谷昭次	
	山田美千代	
企画	鍋島壽夫	
プロデューサー	鍋島壽夫	
	菊地美世志	
原作	三崎亜記	『となり町戦争』（集英社刊）
脚本	菊崎隆志	
	渡辺謙作	
撮影	柴主高秀	
美術	浅野誠	
編集	日下部元孝	
音楽	S i n	
照明	蒔苗友一郎	
録音	柿沢潔	
助監督	小波津靖	

出演	江口洋介		北原修路
	原田知世		香西瑞希
	瑛太	Eita	智希
	飯田孝男		前田善朗
	小林麻子		本田
	辻修		
	中沢青六		
	鈴木晋介		
	牧口元美		
	宇野祥平		
	柴本幸		
	山岡一		
	菅田俊	Shun Sugata	舞坂町 町長
	余貴美子		室園絹
	岩松了		田尻